

7月例会の開催について（通知）

7月例会（県外学習会）を下記の通り開催いたします。

今回は、本年度のテーマ「“令和”時代の新しい都市環境デザイン」の1泊2日の県外視察会です。令和となり初めての会合ですのでふるってご参加ください。

1 日 程 令和元年7月4日（木）～5日（金）

2 テーマ 「エネルギー&環境問題」を考える

3 行 程

7月4日（木）

7：00 津駅西口 集合・出発
11：35頃 昼食（～12：20）
14：50頃 施設見学①「呉市海事歴史博物館」（～15：50）
18：40 宿泊地着
「きのえ温泉 ホテル清風館」
[広島県豊田郡大崎上島町沖浦1900 TEL：0846-62-0555]

7月5日（金）

8：30 宿泊地発
8：50 施設見学②「大崎クールジェン」（～10：50）
12：15頃 昼食（～13：00）
16：25頃 施設見学③「姫路城」（～17：55）
21：35頃 津駅西口着・解散

4 募集数 20名（先着順で定員になり次第、締め切ります）

5 参加費 **22,000円**（貸し切りバス、宿泊費等を含む共通費）
※支払い方法については、参加申込者に別途ご連絡いたします。

6 申込締切日 **6月14日（金）**

別紙申込用紙にて、お申込みください。申し込み後、取り止められる場合は6月24日（月）までにご連絡下さい。それ以降の取り消しには、参加費の一部をご負担いただく場合があります。

（解 題）

エネルギー自給率が低い我が国において、石炭は供給安定性が高く経済性に優れる貴

重な一次エネルギー源であり、電源のエネルギーミックスを図るエネルギー政策のもと、石炭火力発電は重要なベースロード電源とされている。一方、パリ協定の発効により、地球温暖化対策の実効性が問われる状況下、CO₂排出の多い石炭火力発電からCO₂排出量を大幅に削減する現実的な対策が喫緊の課題となっている。

今回視察する大崎クールジェンは、こうした石炭火力発電から排出されるCO₂を大幅に削減させるべく、3つのステップにおいて「石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業」を実施している。地球規模の環境問題に大きく貢献すると思われる次世代の石炭火力発電の実証施設を訪れ、当該実証事業が果たす役割などについて学ぶ機会としたい。

また、呉市海事歴史科学館（通称 大和ミュージアム）では、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」について当時の生活や文化に触れながら学ぶこととしたい。

（幹事：松尾・木下）

都市環境ゼミナール事務局 行
FAX 059-231-6403

申込み締切 6月14日（金）

申 込 用 紙

7月例会・県外学習会（7月4日～5日）に参加します。

「エネルギー&環境問題」を考える

（ふりがな）
氏 名 _____（性別 _____）（年齢 _____ 歳）

勤 務 先 _____

連 絡 先 当日緊急連絡用： _____（携帯電話等）

以 上